

【事業概要】

今後、医療と介護の両方を必要とする85歳以上人口、認知症高齢者、独居高齢者等の増加と同時に、生産年齢人口の減少が見込まれている。高齢者が日々暮らす地域で安心した生活を送り続けることができるよう、「在宅医療」と「在宅介護」を多職種連携により一体的に提供できる地域基盤づくりを推進する。

【目的】

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、日常暮らす地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域において、切れ目なく医療と介護を一体的に提供することができる体制を構築する。また、住民や地域の医療・介護関係者と地域のめざすべき姿を共有し、医療機関と介護事業所等の関係者との協働・連携を推進する。

地域支援事業（包括的支援事業(社会保障充実分)）

	令和7年度実績	令和8年度計画
地域の医療・介護資源の把握及び地域資源情報の有効活用 【くれ福祉のお役立ちサイト(しっとってクレ)】	【くれ福祉のお役立ちサイト(しっとってクレ)の有効活用】継続 ・閲覧数の増加 ・掲載情報の登録・更新 ・生活支援体制整備の促進 ・関係機関との連携ツールとしての有効活用 ・地域診断ワーキング 年2回実施 実施日：第1回 令和7年9月10日(水) 実施日：第2回 令和7年12月22日(月) 参加者：包括的支援推進員（福祉のキューベット）、地域づくり支援事業責任者（にじいろ）、まるごとネット担当者、保健センター保健師、高齢者相談室職員等	【くれ福祉のお役立ちサイト(しっとってクレ)の有効活用】継続 ・閲覧数の増加 ・掲載情報の登録・更新 ・生活支援体制整備の促進 ・関係機関との連携ツールとしての有効活用
在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	【在宅医療・介護連携推進検討委員会】 年2回実施 8月、3月 【関係機関との連携・運動】 音戸・倉橋地域高齢者相談室が実施した、在宅医療・介護連携に関するアンケート調査の結果より地域課題を整理し、今後の対応策を検討した。	【在宅医療・介護連携推進検討委員会】 年2回 実施予定 【関係機関との連携・運動】 包括的支援推進員と連携・運動し、日常生活圏域における在宅医療・介護連携の課題抽出のために医療機関及び居宅介護支援事業所にヒアリングや調査等を行い、地域の実情に応じた対応策の検討を行う。
在宅医療・介護連携に関する相談支援	【相談支援の継続】 在宅医療・介護連携推進コーディネーターによる相談実績 8件 【相談窓口の認知度向上及び利用促進の対応策】 ・在宅医療・介護連携推進コーディネーターの役割や活動内容について、研修会等で改めて周知を行った。 ・相談事例集積及び呉市ホームページへの掲載等によるフィードバックを行った。	【相談支援の継続】《資料2》 在宅医療・介護連携推進コーディネーターによる相談支援 【相談窓口の認知度向上及び利用促進の対応策】 ・周知活動の継続 ・相談支援業務の充実 ・包括的支援推進員と連携・運動し、日常生活圏域の実情に応じてきめ細やかな相談支援を行う。
地域住民への普及啓発 ・ACP支援 ・在宅医療の推進	【私の心づもり・人生の彩ノート普及啓発】 配布数：9,478冊 講話等の開催：33回 参加者数：916名 【きらきら終活フェアでの普及啓発】 実施日：令和7年11月8日(土) 来場者：168名 【市民公開講座】 実施日：令和8年2月7日(土) 参加者：90名	【私の心づもり・人生の彩ノート普及啓発】 継続 【きらきら終活フェア】 実施日：令和8年11月7日(土) 【市民公開講座】《資料4》 テーマ：ACP、在宅医療の推進 【呉市終活情報等登録制度】《資料3-1, 3-2》 病気や事故等で意思表示できなくなった際に備えて本人の意思が反映できるように、あらかじめ必要な情報を市に登録する。
医療・介護関係者の情報共有の支援、研修の開催支援	【医療・介護関係者の情報共有の支援】 ・中央地域医療・介護連携ネットワークチーム 年3回 10月、1月、3月実施 ・宮原・警固屋地域医療・介護連携ネットワークチーム 年2回 12月、3月実施 【医療・介護関係者の研修等】 ・第5回在宅療養を支えるスタッフのための多職種連携研修会 実施日：令和7年8月26日(火) 参加者：60名 ・第6回在宅療養を支えるスタッフのための多職種連携研修会 〈基礎編〉 実施日：令和7年11月6日(木) 参加者：54名 〈実践編〉 実施日： 第1回 令和7年11月20日(木) 参加者：24名 第2回 令和7年11月28日(金) 参加者：25名	【医療・介護関係者の情報共有の支援】 ・中央地域医療・介護連携ネットワークチーム 年2回 実施予定 ・宮原・警固屋地域医療・介護連携ネットワークチーム 年2回 実施予定 ・在宅医療・介護連携のための情報共有ツールについて検討 【医療・介護関係者の研修等】 ・在宅療養を支えるスタッフのための多職種連携研修会の開催《資料5、資料6-2》